

令和6年度岩手県臨床研修病院募集定員（案）

№	臨床研修病院名	募集定員（病院希望定員）			前年度比較 (C=B-A)	【参考】			各病院からの募集定員の設定理由 (増・減・増減なし理由)
		R 4	R 5 (A)	R 6 (B)		R 5年 度 最終 マッチ ング	R 5年 度 採用数 見込み	R 4 採用者 数	
1	岩手医科大学附属病院	40	40	40	0	5	5	9	当院の採用状況等により定員減も検討したが、都道府県別募集定員上限の変動、奨学金養成医師の臨床研修病院選択に係る対応変更を考慮し、現状維持とすることとした。
2	盛岡赤十字病院	8	8	8	0	7	8	3	常勤医の減少に伴い、本当であれば減員したい。なんとか現状維持はしたいが、そのためにたすきがけ研修医の受入を制限しなければならない可能性もあり増員は難しい。
3	盛岡市立病院	4	4	4	0	4	4	2	一度に複数名の臨床研修医を指導できる診療科は限られており、これ以上研修医の人数が増加した場合、研修期間の調整が困難になるため。
4	北上済生会病院	4	4	4	0	0	0	1	病院の規模（病床数、常勤医数等）、これまでの受入実績のほか当院としてできることが限られていることから現状維持が適切であると考え。
5	県立中央病院	19	19	19	0	19	19	15	机、ロッカー、公舎に余裕がなく、19人が限度である。また、実際に指導する場合、19人が限度であるため。
6	県立中部病院	12	12	12	0	8	11	8	必須ローテーションの診療科の中には同時に1名しか指導できない診療科（麻酔科、産婦人科）があるため、各年次12人が限度と考える。
7	県立胆沢病院	8	8	8	0	8	8	7	各診療科内での指導体制、患者数、症例数、手技数等を踏まえると、現在の募集人数が適正であるため。
8	県立磐井病院	8	8	8	0	6	5	8	院内指導体制の状況等から1年次あたり8人が適当な人数と判断しているため。（合計16人）
9	県立大船渡病院	7	7	7	0	0	1	6	診療科の数と指導医・上級医の数から、これ以上定員を増やすと指導が行き届かなくなるため。
11	県立宮古病院	5	5	5	0	1	1	1	当院として、診療科の体制及び指導医数・常勤医数から受け入れる人数が5人までと思われるため。
12	県立久慈病院	8	5	5	0	4	5	1	指導医不足のため、令和5年度募集定員を8人から5人に変更したもの。受入れ体制が整わない状況においては、定員増は困難である。
13	県立二戸病院	5	5	5	0	5	5	0	県北、沿岸の研修病院においては、研修医が病院機能を維持していく上で必要な人員となっている事情があるが、安定した研修医確保に苦慮しているのが現状であり、定数増を検討する状況には無いと考える。また、他の地域で定数を増やした場合、県北、沿岸地域の研修医確保が更に困難となることを懸念する。
計（ア）		128	125	125	0	67	72	61	
本県の上限 (イ)		154	132	146					
募集定員上限との差 (ウ=イ-ア)		26	7	21					